

戦場カメラマン 渡部陽一さんを 招いて講演会



▲身振り手振りで講演をする渡部さん

さきごろ市内4校の中学校生徒会が協力して企画・運営をした「命を大切にする」講演会が、ベルフォーレで開催されました。講師に、戦場カメラマンとして有名な渡部陽一さんを迎え、世界では悲惨な戦争が今も続いて多くの子どもたちが命を落としている状況を、独特の口調とは裏腹の身振り手振りで熱心に語りかけていました。

渡部さんは、ぜひ皆さんも世界に飛び出してほしい、世界のどこかでまた会いましょうと呼びかけ、生徒たちも心に響く写真を撮り続けてください、また会えるのを楽しみ



▲「命を大切に」講演会」は中学校生徒会が協力して計画しました

にしています、と応えていました。

小山村子守学校 タイムカプセル 再び長い眠りに



▲再びタイムカプセルを埋設する役員の皆さん

小山村香取神社に、明治16年、日本で最初に子守学校が設立されたことを顕彰して

昭和58年に石碑の建立と合わせて埋設されたタイムカプセルが再び長い眠りにつきました。カプセルは当初50年後に開封されることになっていましたが、埋設したことを知っている人が少なくなってしまうため、位置を確認したこと。埋設には地区の役員などが立会っていました。資料は猿島資料館で開催された企画展「小山村にあった子守学校」でも紹介されました。タイムカプセルは、埋設当初の予定通り2033年に開封することです。

介護保険事業所職員 の皆さんが研修会

さきごろ岩井図書館で坂東市介護保険事業者団体連合会の研修会が開催され、介護保険法の改正についての研修や老人性うつと統合失調症についての講演会が開催されました。

講演会では、講師の水戸カウんセリングルーム「どんぐ

り」所長の人見健太郎さんが、様々な状況の中で、介護職員が個人で抱えすぎるのは良くない、燃え尽きて倒れることだけは避けて欲しい、と話していました。



▲介護職員のみなさんは熱心に講師の話に聴き入っていました

わくわく美術展 市内の2人が入賞

宮崎正子さん(辺田)
佐藤美代さん(幸田)

さきごろ開催された茨城県健康福祉祭わくわく美術展で、宮崎正子さんの油絵『恵み』と佐藤美代さんの油絵『占有』が洋画の部の佳作に輝きました。



▲佐藤美代さん『占有』



▲宮崎正子さん『恵み』

同美術展は、満60歳以上のかたに出品いただいているもので、宮崎さんの作品は、昨年の大震災後、納屋で収穫されていた玉ねぎを見て、大地に対する感謝の気持ちを込めたこと。佐藤さんの作品は、烏瓜のつるが木の根に垂れ下がりすべてを覆いつくさんとする、乱れた世の中にある憂いを表現したとのことです。